



あまうち

舞鶴市立余内小学校
令和6年度学校だより
第2号
令和6年4月30日発行

校区教育目標
自らの未来を切り拓く「生きる力」を
身に付けた次代を担う児童生徒の育成

やさしさの花咲かせ かしこさの木育て ♪

体育館のステージ右側の上の方に、児童会の歌の歌詞が設置してあります。昭和62年度卒業生一同とありますので、今から40年ほど前の卒業記念制作です。150枚の板の上に、歌詞や絵が浮き彫りになっている素晴らしい作品です。私事で恐縮なのですが、私が余内小学校に初任者として赴任したのが昭和63年4月ですので、完成したばかりの歌詞を見ながら、子どもたちが歌ってくれる児童会の歌を聞いていたんだなあ、と懐かしく思っています。この児童会の歌は、その歌詞が心に響くのです。朝、登校してから、友達とあいさつをしたり、一緒に遊んだり、掃除や勉強をしたりしている場面が歌になっています。特に歌の4番の中には、「やさしさの花咲かせ かしこさの木育て がんばりの山登ろう」と学校の中で大切にしたいことが、ぎゅっと短くまとめられています。



始業式でも、「児童会の歌にあるように、やさしさの花を咲かせ かしこさの木を育てる、そんな余内小学校をつくっていきましょう。」という話をしました。それは、子どもたちを鍛え、励まし、支えていく視点でもあります。学校では、全校335名の子どもたちが、それぞれの教室で学んでいます。そのよさやがんばりは、学級や学年のよさやがんばりとして表現することがありますが、それと同時に、一人一人の歩む姿をしっかり見つめていくことも、改めて大切にしていきたいところです。

先週は、家庭訪問をお世話になりました。短時間の訪問ではありましたが、貴重なお時間をとっていただき、ありがとうございました。学校と家庭のつながりを深める第一歩にし、聞かせていただいた話は今後の指導に活かしていきたいと思えます。

4月の1か月間、新しい先生と新しい仲間、新しい学年で、気持ちも新たにして出発した子どもたちの姿を、各教室の様子から見ることができました。この4月当初の思いを大切に、今後の指導に誠心誠意当たっていきたくと考えています。保護者の皆様、地域の皆様、5月も、ご協力・ご支援のほどよろしくお願いいたします。

校長 藤原 篤美
教職員 一同

ご理解とご協力をお願いいたします

教職員の勤務時間の適正化に向けての取組として、本年度も毎週水曜日を健康推進日とし、一斉退勤日として設定をいたします。また、学校では電話への対応時間を午前7時30分から午後6時までとさせていただきます。なお、毎週水曜日の「一斉退勤日」など、午後6時以降、対応できない日がありますのでご了承ください。

校門門扉の開閉と来校時のお願い

安全上・防犯上の観点から、児童が学校にいない間は門扉を閉めています。門扉を開けられましたらすぐに閉めてください。出るときも門扉を開けられたらすぐに閉めてください。

また、来校時は、先日配布した名札を着用いただき、職員玄関（事務室前）で受付をされた後、校舎内に入ってください。

小中一貫教育コーナー

城北中学校区は、小中一貫教育に取り組んでいます。昨年度に引き続き校区の4小学校1中学校が連携して9年間を見通した教育活動を進めていきたいと思えます。とりわけ小学校から中学校へのつなぎの部分については、4つの小学校の6年生が交流したり、中学校の部活や授業を見学したり、行事に参加をしたりしています。5・6年生の音楽の時間には、中学校の市村仁美先生にご指導いただいています。本年度も、子どもたちが安心して、よりスムーズに中学校へ進学できるように取組を進めていきたいと考えています。